

かみじま自然学校ノート

第2回トンボ観察会「トンボをとってみよう」

主催：NPO 法人頼れるふるさとネット

開催日時：平成 25（2013）年 7 月 14 日（日）

9:00~11:00

会 場：愛媛県越智郡上島町生名三秀園

参加者数：子ども：6 人 保護者：3 人 スタッフ：7 人 総数 17 人

かみじま自然学校は観察もさることながら五感を体験する観察会です。発達段階において生きものに触れることは大事なことです。大人の観察会とはちょっと違うのです。

生名三秀園は、麻生イト刀自が私財をはたいて造った公園です。そこには、古来運ばれてきた大きな石があり町の文化財としても保存されています。その公園にある池。潮の動きにより海水と山から真水が混じる池ですが、身近な生物の生息地となっています。

さて、子どもたちの自然体験が乏しくなってきたとされています。生きものを捕るという遊びは、小さな生きものに触れるという発達段階の上でも重要なウェイトを占める部分です。それが今失われているのです。実際にそうした機会・場所がないからという話も聞きますが、全国で子どもたちの遊びが画一化してきている中、自然に恵まれた地域でも自然体験は乏しくなっているのです。

さらに、親たちの世代もすでに自然体験が少ない中で成長してきているのですから、いよいよ自然で遊ぶ機会は減ってきているのです。

かみじま自然学校では、雄大な自然で遊ぶ機会を与えるのではなく、身近な自然での遊びをとおして、里地里山自然環境の大切さと命の尊さを伝えていきたいと考え活動しています。

生名三秀園のトンボ 下見と併せて捕獲・観察できた種（6 月、7 月）

イトトンボ科	キイトトンボ
	アオモンイトトンボ
オニヤンマ科	オニヤンマ
ヤンマ科	クロスジギンヤンマ
	ギンヤンマ
トンボ科	シオカラトンボ
	シオヤトンボ
	オオシオカラトンボ
	ハラビロトンボ
	ショウジョウトンボ
	コシアキトンボ

観察会の様子



みんなあ 準備はいいかあ！

・・・今のところばらばらである・・・

えーこれどうやって使うん？

さすがは男の子！すぐに網を振り始めるが・・・

とれーーーーーんんんん www



ふりゃいいってもんじゃない
ほら、大先輩もでてきたぞ～



とにかく闇雲に降るので・・・





いったん全員集めてミーティング。

**トンボの動きをよく観察するんだ！
トンボはよく見ると同じところを回っ
ている。待ち伏せて捕ってごらん。**

獲ったーwww!!!

ん？イトトンボ？
さっきまで追いかけていたのは違う
トンボのはず・・・

アオモンイトトンボ。
その色あい、小ささ、よく覚えておい
てね。



ちょっとおっかなびっくり。
こちらも人生初トンボ獲り。

うわあああああ・・・

後ろから覗き込むおねえちゃん。

彼女が獲ったのはオオシオカラ
トンボ。
人生初体験だそうな。





自然観察指導員のお話もまじめに聞きました。ところで止水性ってなぁぁに…？

とにかく今日も無事に終了。

トンボという小さい生き物だけど、不思議さ、小ささに驚いた気持ち
「センス・オブ・ワンダー」を大人になっても持っていてね。

